

研究課題 (テーマ)	生物工学科においてなじみの深い富山の製薬企業および醸造企業への訪問見学		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	生物工学科	主任教授	加藤康夫
担当者	生物工学科	教授 教授	西田洋巳 占部大介
研究結果の概要			
<p>生物工学科 3 年生を対象とした後期の講義「グリーンケミストリー」は、火曜の午後に異なる講義と連続していないため、午後をすべて使用した取り組みが可能であった。そこで、醸造企業として吉乃友酒造 (10/8) と成政酒造 (11/5)、製薬企業として東亜薬品 (11/19) と池田模範堂 (12/3) への企業訪問見学を実施した。各学生は製薬企業 1 社および醸造企業 1 社を選択した。本学地域連携センターの協力のもと、各回の訪問時には、バスをチャーターし、生物工学科の教員が引率した。企業訪問を最大限に活用するため、事前学習および事後学習を行った。さらに企業訪問の前後においてアンケートを実施し、県内企業への関心が高まったかどうかを評価した。</p> <p>10/8 の吉乃友酒造への企業訪問には、学生 25 名、引率教員として西田教授、地域連携センターより藤堂アドバイザー、さらに下山学長の計 28 名が参加した。11/5 の成政酒造への企業訪問には、学生 16 名、引率教員として生城教授の計 17 名が参加した。11/19 の東亜薬品への企業訪問には、学生 18 名、引率教員として占部教授、地域連携センターより藤堂アドバイザーの計 20 名が参加した。12/3 の池田模範堂への企業訪問には、学生 23 名、引率教員として占部教授の計 24 名が参加した。</p> <p>事前および事後のアンケートでは、「あなたの就職先 (大学などの教育研究機関を含む) として富山県の企業 (団体) を考えていますか？」などについて設問し、学生の意識変化を調査したが、大きな変化は見られなかった。一方で、「今回の企業訪問見学についてよかったですと思いますか?」「富山県の企業への就職について今回の訪問見学で変化がありましたか?」などの設問からは、企業訪問の機会を得られたことは学生にとっては有意義であるとの結果が読み取れた。</p> <p>本プログラムは県外からの学生に対して、富山での就職を考える機会の一つとして実施したが、その効果はあまりなかったようなアンケート結果であった。しかし、参加した学生の大半は、今回の企画を好意的にとっており、就職における一つの判断材料にはなったと考えている。</p>			
今後の展開			
<p>今後は、企業訪問の数を増やすのではなく、富山の企業で注目を集めているようなプロジェクトや開発商品などの説明の機会などを提供するようなスタイルにすればどうかを考えている。</p>			